

GLOBALG. A. P. 導入セミナー in 名古屋のご案内

G. A. P. とは、Good Agricultural Practice (適正農業規範) の略であり、GLOBALG. A. P. は今や世界共通の基準です。全世界農業者の共通のテーマでもある「食の安全リスクの低減」「労働安全」「人権の保護」「環境保全と生態系の維持」の実践を通して「食の安全と持続可能な農業」の実現に向け、東京オリンピックを3年後に控えた今こそ、GLOBALG. A. P. を導入する絶好の機会です。ご参加をお待ちしております。

▼日時：2017年5月23日(火) 12時30分～17時30分 (11:30より受付)

▼会場：TKP ガーデンシティ名古屋新幹線口

●JR 東海道本線 名古屋駅 太閤通口 徒歩3分

●近鉄名古屋線 近鉄名古屋駅 徒歩5分

〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町1-16

井門名古屋ビル 4F (事務所：5F) TEL：052-459-3116

▼主催：株式会社アグリインキュベーター・一般社団法人 GAP 普及推進機構

▼プログラム：①GLOBALG. A. P. 導入セミナー開催の挨拶

藤井滋生 (株式会社アグリインキュベーター代表)

②GLOBALG. A. P. の目指すもの

Dr. Kristian Moeller (GLOBALG. A. P. C. E. O.) 逐次通訳

横田敏恭 (一般社団法人 GAP 普及推進機構 理事長)

今瀧博文 (一般社団法人 GAP 普及推進機構 専務理事)

③GLOBALG. A. P. 取得の必要性

農林水産省 (予定)

④日本の農産物の輸出の現状と今後

高橋千秋 (日本農産物輸出組合 理事長 三重大学 特任教授)

⑤GLOBALG. A. P. の実践事例紹介 (取得のポイント)

石黒一信・佐野英俊 (静岡県温室農業共同組合 クラウンメロン支所)

・「オプション2 (グループ認証) メロンの事例」

福永庸明 (イオンアグリ創造株式会社 代表取締役社長)

・「イオン農場における GAP の取り組み」

中山清隆 (有限会社大崎農園 専務取締役)

・「GLOBALG. A. P. 取得までの軌跡と経過」

西まゆか (一般財団法人北海道農業企業化研究所)

・「オプション2 (グループ認証) 北海道での事例」

⑥クロージングノート

藤井滋生 (株式会社アグリインキュベーター代表)

▼参加費：8,000円 (資料代含む)

▼応募人数枠：100名限定

▼問い合わせ：(株)アグリインキュベーター 代表 藤井滋生 (GAP 普及推進機構理事 TEL/FAX 03-6661-2234)

▼申込方法：下記内容をE-MAILにてお送りください。

(同一会社にて複数名でのご参加の場合は、参加者全員の氏名・メールアドレスの記載をお願い致します。)

① 氏名 ②会社名 ③メールアドレス ④電話番号

締切り5月15日(月)迄 E-MAIL agriseminar.jimukyoku@gmail.com



Dr. Kristian Moeller
(GLOBALG. A. P. C. E. O.)